

## 令和4年度 中国四国地域飼料増産推進研修会

### －資料一覧－

- ・ 議事次第
  
- ・ 資料一覧
  
- ・ 令和4年度中国四国地域飼料増産推進研修会開催要領
  
- ・ 資料1 子実用トウモロコシの収穫・調製作業について
  
- ・ 資料2－1 飼料をめぐる情勢
- ・ 資料2－2 令和4年度第2次補正予算の概要
- ・ 資料2－3 令和5年度予算の概算要求の概要
  
- ・ 資料3 「子実用とうもろこし」の生産振興の展望
  
- ・ 資料4 子実用トウモロコシ生産に至った経緯と推進体制
  
- ・ 資料5 大分県内で行った子実トウモロコシ生産について
  
- ・ 資料6 広島県庄原市における地域資源循環の取組  
～「青刈りとうもろこし」を活用した耕畜連携体制～
  
- ・ 資料7 協会の飼料増産に係る取組み
- ・ 資料7 別冊 令和5年播種用飼料用イネの栽培と品種特性

令和4年度 中国四国地域飼料増産推進研修会

－ 議事次第 －

日時：令和4年12月21日（水）13：30～17：00

場所：岡山第2合同庁舎 10階A・B会議室

Zoom 同時配信

1 開会

2 挨拶 中国四国農政局 生産部 白井部長 13:30～

3 技術講演【40分】

子実用トウモロコシの収穫・調製作業について 13:40～  
農研機構畜産研究部門 畜産飼料作研究領域  
領域長補佐兼飼料生産利用グループ長 河本 英憲 氏

4 行政報告【10分】

飼料をめぐる情勢について 14:20～  
農林水産省畜産局飼料課飼料生産計画班計画係長 大藪 武史 氏

5 取組事例【各20分】

(1) 「子実用とうもろこし」の生産振興の展望 14:30～  
日本メイズ生産者協会 代表理事 柳原 孝二 氏  
(2) 子実用トウモロコシ生産に至った経緯と推進体制 14:50～  
宮城県涌谷町農林振興課農産園芸班 班長 藤崎 幸治 氏  
----- 休 憩 【10分】 ----- 15:10～

(3) 大分県内で行った子実トウモロコシ生産について 15:20～  
独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校 講師 森田 昌孝 氏 15:40～

(4) 広島県庄原市における地域資源循環の取組  
～「青刈りとうもろこし」を活用した耕畜連携体制～  
株式会社 vegeta 代表取締役社長 谷口 浩一 氏

6 情報提供【10分】

日本草地畜産種子協会の飼料増産に係る取組み 16:00～  
一般社団法人日本草地畜産種子協会 専務理事 田中 誠也 氏

----- 会場レイアウト変更【10分】 ----- 16:10～

7 意見交換（総合質疑）【40分】

16:20～

8 閉会

17:00

令和4年度 中国四国地域飼料増産推進研修会 開催要領  
～子実用を含む飼料用とうもろこしの生産が繋ぐ耕畜連携～

1 目的

我が国の畜産をめぐる情勢につきましては、現下の円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により、輸入穀物や燃料の調達コストが上昇しており、農林水産業はもちろん、関連産業においても、その影響を強く受けております。

また、中長期的には、輸入飼料への過度な依存から脱却し、国内の飼料生産基盤に立脚した足腰の強い生産に転換することが重要であり、子実用を含む飼料用とうもろこしの生産拡大、国内資源である家畜排せつ物由来の堆肥等の活用の推進が一層強く求められており、耕畜連携を更に進めていくことが重要と考えております。

このような中、国内の飼料生産基盤の強化につながる飼料用とうもろこしの生産技術や、地域の実情に合った耕畜連携体制を構築し飼料用とうもろこしの生産に取り組んでいる事例を紹介することで、飼料自給率向上に資することを目的として研修会を開催します。

2 主催

中国四国農政局、(一社)日本草地畜産種子協会

3 日時

令和4年12月21日(水) 13:30～17:00

4 開催場所

岡山第2合同庁舎 10階A・B会議室  
(〒700-8532 岡山市北区下石井1丁目4番1号)  
オンライン(Zoom)での同時配信

5 内容

(1) 技術講演

子実用トウモロコシの収穫・調製作業について  
農研機構畜産研究部門 畜産飼料作研究領域  
領域長補佐兼飼料生産利用グループ長 河本 英憲 氏

(2) 行政報告

飼料をめぐる情勢について  
農林水産省畜産局飼料課

### (3) 取組事例

#### ①「子実用とうもろこし」の生産振興の展望

日本メイズ生産者協会 代表理事 柳原 孝二 氏

#### ②子実用トウモロコシ生産に至った経緯と推進体制

宮城県涌谷町農林振興課農産園芸班 班長 藤崎 幸治 氏

#### ③大分県内で行った子実トウモロコシ生産について

独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校 講師 森田 昌孝 氏

#### ④広島県庄原市における地域資源循環の取組

～「青刈りとうもろこし」を活用した耕畜連携体制～

株式会社 vegeta 代表取締役社長 谷口 浩一 氏

### (4) 情報提供

日本草地畜産種子協会の飼料増産に係る取組み

一般社団法人日本草地畜産種子協会

### (5) 意見交換

## 6 定員

開催会場参加 50名程度

オンライン (Zoom) 参加 80名程度

応募多数の場合は、中国四国地域在住の農家の方を優先。

## 7 参集範囲

生産者、県、市町村、試験研究機関、農業関係団体等